



森本 貴之 議員

日本遺産を生かした 取り組みを

町長

遺産認定の本質を見直したい

【森本】日本遺産を生かした新たな取り組みへの検討は。

【町長】行政や関係者で、枠組みづくりをしているので、住民の参加意識が低い。

地蔵信仰が育んだ日本最大の牛馬市に関する史跡、文化財を掘り起こし、遺産認定の本質的な部分を見つめ直したい。

【森本】歴史、文化に触れる教育の仕組みづくりの推進を。

【教育長】自主組織や公民館と学校が連携し、学校教育だけでは体験の広がりを考えたい。

【森本】資源を活用した観光振興は。

【町長】新たな事を始めようとする、住民や活動する人を最大限バックアップしていきたい。

【森本】バーガーフェスタへの予算は今年度以降未定である。今後は。

【町長】本町として、経済効果は薄い。協議を重ね方向を決めたい。

国際交流に

求めるものは

町長

経済的交流に 発展すること

【森本】大山エリアとハワイ州の交流事業が民間主体で行われている。本町において国際交流に求めるものは。

【町長】経済的な交流に発展させていく事が、継続的な交流だと考える。

【森本】大山エリアの子ども達も交流に参加している。子ども達に

とって、交流の大切さは何だと考えるか。

【教育長】国際化の時代へ向け、将来のキャリア教育にも重要だと思う。

【森本】インバウンド対策で、公共施設のトイレの洋式化の検討を。

【町長】順次洋式化はしていきたい。



大山を世界へ発信

子育ての旅の今後は

教育長

参加しやすい事業を検討中

【森本】慶應義塾大学との連携による取り組みの現状は。

【町長】高齢者と子どもをつなぐなどの、取り組みに向け、子ども関連の事業の洗い出しを行なっている。

【森本】つながりの豊かさ指標はどう活用するか。

【町長】数値化し、効果の検証に活用していきたい。

【森本】子育て環境においても、つながりは大切である。「子育ての旅」がなくなったが、今後の検討は。

【教育長】子育て支援事業は大切である。改めて対象の人が参加しやすい事業を検討している。



子どもとつながる地域の活動